

発明の名称:対象物検出装置

利用・用途・応用分野

無料開放特許

老人ホーム、病院、一人作業時での安否確認や離床検知、防犯での利用

目的・課題

対象物の有無、位置又は動作状態を把握する際、一次元輝度分布検知装置の設置環境によらず、対象物検出装置の検出性能を向上させることを第1の目的とする。

複数台の一次元輝度分布検知装置を用いて対象物の有無、位置又は動作状態を把握する際、監視対象空間を自由に分割できるようにすることを第2の目的とする。

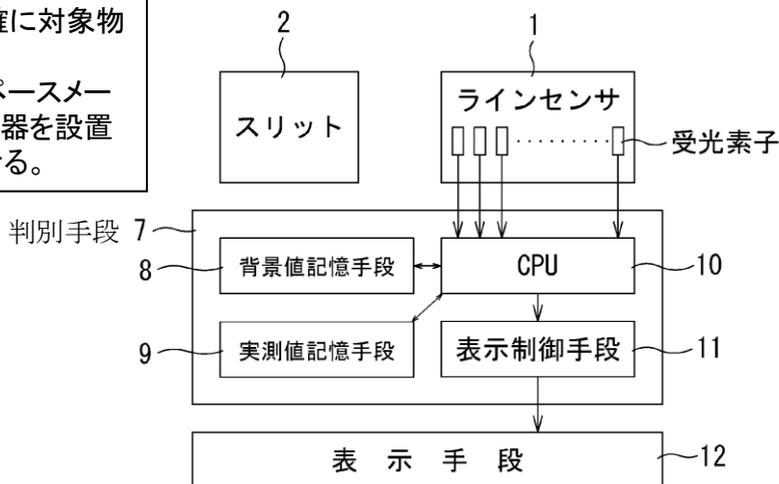
解決ポイント

下図の(ラインセンサ1)の各受光素子からの光強度信号に基づいて、監視対象空間内における対象物の有無、位置及び動作状態を判別する(判別手段7)と、判別結果を報知する(表示手段12)を備える対象物検出装置。(判別手段7)は背景値信号を記憶する。(背景値記憶手段8)、所定時間毎に(ラインセンサ1)の各受光素子が検知した光強度信号を時系列データとして記憶する(実測値記憶手段9)フレーム間差分法又は背景差分法により対象物の有無、位置及び動作状態を判別して報知情報を作成する(CPU10)並びに報知情報に基づいて表示制御情報を(表示手段12)に送信する(表示制御手段11)を有している。

研究概要・アピールポイント

- ◆プライバシーを保護しながら、太陽光が入射するような、背景が変化しやすい場所でも正確に対象物を検知することができる。
- ◆電磁波を用いないため、ペースメーカー利用者や高度医療機器を設置している場所でも利用できる。

【対象物検出装置の全体構成図】



◆ お問合せ先 ◆

有限会社山口ティール・エル・オー TEL: 0836-22-9768 E-mail:tlojim@yamaguchi-u.ac.jp